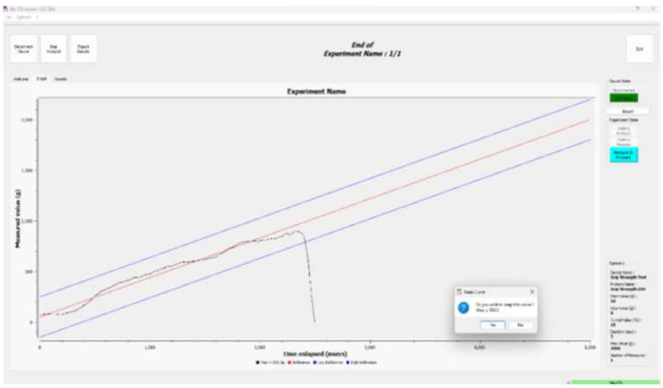
ワイヤレスピンチャー





ピンチャーによる痛覚測定で正確かつ早く記録！
共通コントロールユニットで
BIOSEB製他機器とも共用可能

適用研究分野：疼痛、代謝等

ピンチャーを用いることで、マウス、もしくは、ラットの肢の圧刺激に対する痛みの閾値を、Randall&Selitto試験に比べて、より早く、より正確に、測定することができます。また、最小限の拘束で測定できるので、データのばらつきを少なくできます。
中継インターフェースとワイヤレスで接続するため、設置場所と試験者の動きにおいて自由度が高まります。
中継インターフェースはBIOSEB社の一部他機器と共通のため、ピンチャーやアルゴメーター等と共用にすることで、スペースやハードウェアコストの削減に貢献します。

オプションのソフトウェア（BIO-CIS2）で下記にも対応いたします：
・実験内容の設定
・圧刺激のリアルタイムモニタリング
・実験結果のグラフ化
・実験結果のエクスポート
（CSV形式）

必要環境：Windows 7 32 bitもしくは Windows 7~11 64 bit、CPU Intel Core i3 8th gen以降、メモリ4 GB RAM以上

標準構成

•持ち運び用キャリーケース
•ラット/マウス用ピンチャー
•ワイヤレス痛覚センサー用 インターフェース(BIO-ALGOKIT)
•フットスイッチ
•電源アダプター

仕様

インターフェースのメモリー容量	最大100件
測定範囲	0〜2000 g
分解能	0.1 g
電源	AC 100 ～ 220 V、50/60 Hz/バッテリー駆動

型式	品名
BIO-RP-WRS-M	ワイヤレスマウス用ピンチャー
BIO-RP-WRS-R	ワイヤレスラット用ピンチャー
オプション	
BIO-RP-WRS-STIM	ワイヤレスマウス用ピンチャーセンサー
BIO-RP-WRS-STIR	ワイヤレスラット用ピンチャーセンサー
BIO-CIS2	BIO-CISソフトウェア V2
BIO-ALGOKIT	ワイヤレス痛覚センサー用インターフェース



ワイヤレスで手周りスッキリ！
ソフトウェアがあっても、なしでも簡単に測定できます



インターフェースで多種の機器と接続！
どの機器もBIO-CIS2で実験の制御ができます

中継インターフェース対応機器：ワイヤレスVon Frey装置、アルゴメーター（SMALGO）、小動物用ピンチャー

バイオリサーチセンター株式会社 www.brck.co.jp sales@brck.co.jp

本　　社　〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉2-28-24 東和高岳ビル4F　TEL 052-932-6421　FAX 052-932-6755
東京支店　〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-7-1 瀬木ビル2F　TEL 03-3861-7021　FAX 03-3861-7022
大阪営業所　〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル2F　TEL 06-6305-2130　FAX 06-6305-2132
福岡営業所　〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津1-14-1 FRCビル4F　TEL 092-626-7211　FAX 092-626-7315
仙台営業所　〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町5-2-10 卸町斎喜ビル208　TEL 022-290-9352　FAX 022-290-9353